

産地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2016.6.1 発行責任者 島崎栄一

田 植 え

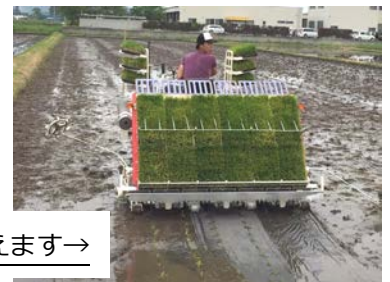
青年部 平 一晃

どーもっし!(こんにちは!) 青年部の平一晃です!
ゴールデンウィークも終わり田植えの季節がやってきました!
とは言っても、時期が来たからとただ植えれば良い訳ではない
んです。

実は田植えまでにやるべき事がたくさんあるのです。
今回は田植えまでの道のりをお伝えしたいと思います。



- 3月下旬→【温湯処理】種籾を暖かいお湯に浸け病気の原因となる細菌等を殺菌消毒します。
- 4月中旬→【播種】苗箱に種籾を蒔く。
- 4月下旬→【プール育苗】種蒔きの終わった苗箱をビニールを敷いた畑に均一に並べ、水を溜める。これをする事でカビ等の病害を抑え、強い苗を作りを作ります。【元肥】田んぼに肥やしを撒く。
- 5月上旬→【耕運】田んぼを耕す。
- 5月中旬→【代掻き】田んぼに水を入れ、平らにする。
そしていよいよ田植えとなります。



僕たちは有機栽培での稲作にも取り組んでいます。
そこで出てくるのが【紙マルチ】

紙を敷きながら植えます→

有機栽培では欠かせない、紙を敷きながら田植えをする方法。これをする事で雑草が生えるのを防ぎます。そうすると、除草剤を使わずに済むのです。僕たちが作るお米は手間を惜しまず、何より皆さんに安心して、そして美味しく食べてもらえるよう心をこめて(込めて)作っています!!

花摘み作業でおいしい果実を!

果樹生産者 高橋哲郎



春の果物の管理作業では花を摘む作業が始まっています。
写真はりんごの花ですが、りんごは基本的に真ん中に咲く中心花とその周りに咲く側花があります。側花を一つ一つ手で取ってあげて中心花に栄養を集めて実を大きくさせるのが目的です。樹には無数の花が咲くので時間の掛かる作業です。

さらに今年は4月の低温・霜の影響で、雌しべが茶色く変色し受粉ができず実にならずに落ちてしまうという被害が出ています。過去に見たことが無いぐらいの被害で今年の収量が心配されます(;´Д`)

しかし、残っている果実を品質の高い物にするため今後の管理作業をガンバっていきます!

ブルーペイント イベント開催！

広報委員長 渡沢寿



身障者用駐車場を青くペイントするボランティアイベントを通して、「地域のバリアフリー化と心のバリアフリー」を普及する活動をしている団体「GRATITUDE(グラティテュード)」

←筋ジストロフィーという難病を患い、車いす生活を送りながらも、精力的に活動を続ける加藤代表

ひよんなことから南陽市を拠点に活動するこの団体の代表加藤さんと知り合い、当センターの身障者用駐車スペースをブルーペイントする運びとなりました。



当日は朝から晴れて暑い中、40名を超えるボランティア参加者のみなさんと、センターの組合員職員が協力して、半日かけてペインティング！
思ったよりきれいにできてびっくり！
これもスタッフのみなさんの準備と指示のおかげ。

事務所にお立ち寄りの際は私たちの「自信作」をぜひご覧ください！

産直米変更連絡用紙

山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。

急な変更等是对応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コード NO _____ (納品請求書の左上 5桁の NO) FAX 送信日 月 日

氏名 _____ 様 電話 _____

お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
月～ 月までお休み

変更連絡 月 日お届け分の変更
～変更内容～

